



水井 清光 議員

市長の政治姿勢について

問 市長は「みんな力を合わせ新しい南相馬市をつくらう」をスローガンに掲げ、2期目に臨み市長の公約がどの程度達成されたのか、またどのような課題があるのか、その取り組みについて伺う。

答 平成26年1月の市長選挙で掲げた公約について、保育園・幼稚園の無料化、脳卒中センターの完成、セデツテかしまのオープン等計画的に実現してきました。また今後の課題として、小高区を初めとする避難指示区域の再生、移住定住の問題、コミュニティの再生の課題に積極的に取り組んでまいります。

問 環境省へ直接交渉しているが残念ながらいまだに搬出の時期については提示されておられません。住民が納得する目標を提示する必要があると考えています。

答 風評被害はみんな力で合わせないと、一部の機関としか解決できないものではないと考えますが対応を伺う。



6号国道東仮置場

問 風評被害はみんな力で合わせないと、一部の機関としか解決できないものではないと考えますが対応を伺う。

答 風評被害については、農産物に象徴されるように、農産物の皆さんが誇りを持って生産したものを安心して届ける努力をする。

質問を終えて
除染廃棄物の早急な搬出、風評被害から脱却。県・市・市民一体となった取組をすること。

その他の質問

- ① 児童生徒の生きる力を習育・徳育・体育策について
- ② 高齢者の健康寿命対策について
- ③ 家庭ごみ・事業系ごみの減量対策について



竹野 光雄 議員

浪江・小高原発用地へ無償譲渡へ

問 東北電力株式会社では、平成25年3月に開発計画の取りやめを決定し、この度浪江町に対して無償譲渡することを決定しました。南相馬市として、今後どのように対応していくのか伺う。

答 旧建設用地については、今後の浪江町と東北電力との用地譲渡にかかる推移を注視し、状況把握に努め、対応を協議してまいります。

問 浪江町は、雇用創出エリア予定地と位置づけ、産業団地を整備する方針であり、小高分の土地活用へと、浪江町と連携を図るべきであるが、市の見解を伺う。



旧原子力発電所予定地（小高区浦尻）

問 小高区商業施設整備について、帰還住民及び多くの方よりスーパリー的なお店が必要と熱望されており、このほど小高区の上町に食料品など小売店舗の整備計画を進めています。住民からは、早い開店

- ① 空き家対策について
- ② 再生可能エネルギーの推進について
- ③ 小学校英語教科化の実施について

質問を終えて
若者が定住し、安心できる施策に力を入れる事が大事である。



太田 淳一 議員

いじめ防止 対策について

等により、解決を図っている。

問 市内各小中学校において、いじめ防止のためにこれまでどのような取り組みが行われてきたのか伺う。

答 学校では、アンケート調査、面談、観察等により、いじめ実態把握のもと、いじめの実態があつた場合は、いじめをした児童生徒に対し、それぞれに違つても尊重すべき大切な人格を持つていて、生命尊重を見据え徹底した指導を行っている。いじめられた児童生徒に対しては、悩み相談や不安解消に向けたカウンセリングを行っている。更に、校内のいじめ対策委員会で情報共有を行うほか、対応策を検討し指導にあたっている。また、専門的知見を持ったスクールカウンセラーとの連携

等により、解決を図っている。

問 今回の事故を受け、クラスメイト、同級生、担任の先生、保護者を含めた全ての関係者への心のケアについて、どのように対応しているのか伺う。

答 児童生徒のケアについて、スクールカウンセラー、養護教諭等に対応している。担任の教諭、養護教諭、その他関係する教員につ



第1回南相馬市いじめ問題対策委員会の様子

いても、同様に相談体制をしっかりとしたところある。加えて、市教育委員会の指導主事も学校に出向き教職員の支援をしており、これら関係者の心のケアについては、できる限りのものを実施しているところである。

質問を終えて
学校だけに任せるのではなく、家庭や地域が一丸となり取り組むべき課題と考えます。

その他の質問

- ① 南相馬市いじめ問題対策委員会での調査内容・手法について
- ② 今後のいじめ防止等の取り組みについて



渡部 一夫 議員

いじめ防止 対策について

問 今回の重大事態ですが、これまでの取り組みに不足していたのはなかったのか伺う。

答 今回のいじめの事案を受け、学校、市の教育委員会の情報の共有が甘かったと感じている。また、いじめ対策も学校側に任せ過ぎていたと感じている。今後は、いじめが発生した場合速やかに市教委へ報告するとともに、情報と対応策の共有化を図っていく。

問 いじめは見えていなくても必ず起きると発想を転換することが極めて重大だと言われている。どのようにこの問題について受けとめるのか伺う。

答 今回の事案が発生した後、県が主催したいじめ対策担当者研修会に参加してきた。研修会で講師からいじめ



原町第一中学校

ゼロを目指すのではなく、いじめはどこにでもあるとの事実確認のもと、いじめを積極的に認知し、解消に向け早期に取り組むことが大切であるという講話があつた。私としても全くこのとおりだと考えている。

問 避難している方たちに対し、どういうメッセージを発しようとしているのか伺う。

質問を終えて
改めて「寄り添う」ということについて、考えさせられた三月議会でした。

その他の質問

- ① 固定資産税の負担増について
- ② 誰もが障がい者サポートについて
- ③ 教育を受ける権利について